

Related text - Prescribed issue: The impact of change on society
(Text 2)

Read the text and answer the questions that follow.

最近、18の国々で、9万人の会社員にアンケートをした結果によると、
たいていの国では、21%の人が会社のために、休みの日や夜でも、仕
事をしてかまわないと答えました。アメリカでは、29%の人がそう
答えましたが、日本では、「会社のために休みの日や夜おそくまででも
働く」と答えた人が3%しかいませんでした。

これまで、ほとんどの日本の会社員は、家族より仕事の方を大切にして、
休みも取らないで、毎日夜おそくまで、働いていました。しゅうしょく
したら、ずっと同じ会社で、何十年も、いっしょうけんめい働く人がほ
とんどでした。この人達のおかげで、日本の経済が発展したのだと言わ
れています。一方、日本の会社は、外国の会社より社員のめんどろをよ
くみると言われていました。

しかし、最近では、会社と会社員のかんけいが変わってきました。若い
会社員の中では、「ほどほど族」とよばれる人達がふえているそうです。
この人達は、仕事は、まあまあがんばってするけど、自分の生活の方が
大事、マネージャーや、せきにんのある仕事は、したくないのだそうで
す。自分の父親は、友達もいない、しゅみもない、働いてばかりだった。
自分は、会社がすべての生活をしたくないと思う人がふえているよう
です。また、こういう若い人達の中には、結婚して、家族を持ちたいと思
わない人が多いそうです。

^{ぞく}
族: tribe

すべて: everything

** Vocabulary from the prescribed text extracts and additional kanji set for recognition by the BOS have been included without furigana.*

Questions

1. Summarise the previous relationship between Japanese companies and their employees.
2. Discuss the potential impact that the “*hodo-hodo* tribe” would have on Japan’s economic future.

Writing task

Do you think work should be our number one priority? Write a short essay for a Japanese youth magazine. Write approximately 600*ji*.